

水道施設の耐震化状況及び耐震診断結果

(令和2年3月末現在)

●基幹管路

	管路全体	耐震管路(A)	DIP管K形継手の内、耐震性能を満たす管路(B)	耐震適合性がある管路(C)
管路延長	13,726 m	7,278 m	3,909 m	11,187 m
割合	100%	53%	28%	81%

・耐震管路(A)：ダクタイル鋳鉄管の内、S形、SⅡ形、NS形、GX形、及び鋼管（溶接継手）、ポリエチレン管（融着継手）をいう。

・DIP管K形継手の内、耐震性能を満たす管路(B)：ダクタイル鋳鉄管のK形継手は、地盤が良い場所では耐震性能がある管とされているため、布設されている地盤により検証を行い、耐震適合性のある管路としている。

・耐震適合性がある管路(C)は、耐震管路(A)と耐震性能を満たす管路(B)の合計

●配水池

(200 m³以上)

配水池名称	耐震診断結果	耐震化・更新計画年度
五和配水池	対策済	
大代配水池	診断不要	
栗島配水池	診断不要	
下坂配水池（西）	対策が必要	令和5年度
下坂配水池（東）	対策が必要	
牧之原配水池（高区）	診断不要	
牧之原配水池（低区）	診断不要	
金谷配水池	診断不要	
猪土居配水池	対策済	

診断不要：建設時の基準が、現在と同様の耐震強度であるため、診断が不要な施設